

とちぎ  
2003

# 県政のあゆみ

2004年 2月号別冊

2004年2月15日発行  
編集・発行：栃木県広報協会

栃木県のホームページ  
<http://www.pref.tochigi.jp/>





## 母子家庭などお母さんの就業を支援 「母子家庭等就業支援センター」オープン

母子家庭のお母さんや寡婦の方の就業を支援するため1月6日、「母子家庭等就業支援センター」を県母子福祉センター（宇都宮市若草）内に開設しました。センターは、県が栃木県母子寡婦福祉連合会に委託し、就業のあつせん、各種講習会事業、就業情報の提供をはじめ、生活相談・法律相談（要予約）などを行っています。

電話／028-621-2348  
電話・FAX／028-622-4524  
メール／tochbosi@sea.ucatv.ne.jp

## 一足早い春を満喫

とちぎ花フェスタを開催

県内最大規模の花の祭典「とちぎ花フェスタ2003」が2月21日から23日まで、大田原市の県北体育館で開催されました。ひと足早い春を「栃木の花」で装飾した会場には35000人を超える来場者が訪れました。場内では県内花木生産者が一堂に会した品評会、花のディスプレイ飾花、フラワーアレンジメントのコンテストが実施され、生け花の展示も行われました。



## 農業用水を安定供給

大室ダム（今市市）が落成

県営かんがい排水事業大室ダムの落成式が、2月23日、地元関係者、関係機関多数の出席のもと盛大に行われました。大室ダムは、今市市に広がる水田地帯（252ヘクタール）の農業用水の安定提供、農業生産性の向上、農業経営の安定合理化を図ることを目的として、地域の人たちの大きな期待を受けて完成しました。また、ダム周辺を市民の憩いとやすらぎの空間として親水公園を整備しました。





## 宇都宮インターと「宮環」を直結

「一般国道119号「宇都宮北道路」が開通

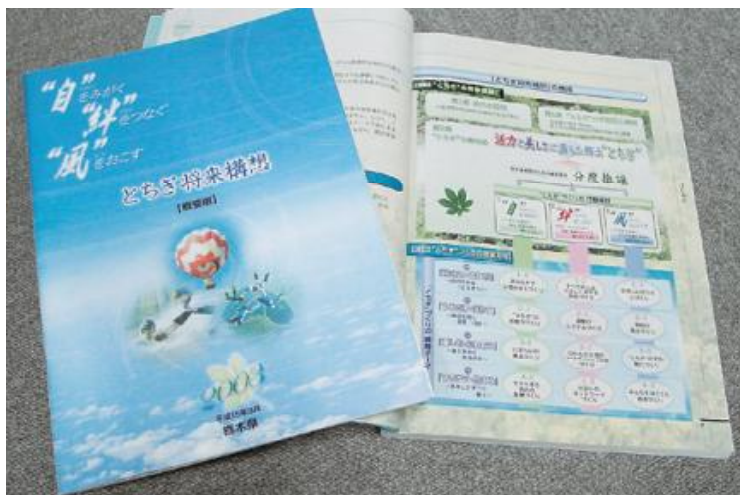
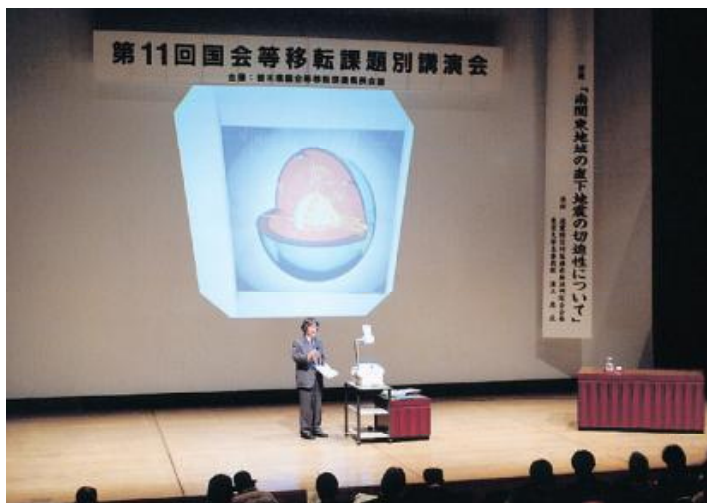
東北自動車道宇都宮インターチェンジと、宇都宮環状道路（宮環）を直結する「宇都宮北道路」が3月24日に開通しました。これにより、日光街道（国道119号）の慢性的な渋滞が解消され、沿道環境が改善するとともに、この区間の定時性が大幅に向上しました。また、高速道路と一体となった全国的な広域交通ネットワークの形成とともに「県土60分構想」が大きく進展しました。



## 本県の安全性を評価

国会等移転課題別講演会を開催

国会等移転課題別講演会が3月19日、県総合文化センターで開かれました。この日は地震防災対策強化地域判定会会長の溝上恵氏が「南関東地域の直下地震の切迫性について」と題して講演しました。講演では、歴史的周期から南関東地震が切迫していること、過密状況にある東京での地震は相当な被害が予想されることについて言及がなされ、こうした観点から「安全性の高い本県が国会等移転審議会で1位の評価を受けたと思われる」と述べられました。



## 「活力と美しさに満ちた郷土」とちぎを

県の長期ビジョン「どちぎ未来構想」を策定

県は、3月末に長期ビジョン「どちぎ未来構想」を策定しました。この構想では、21世紀半ばを見据え、今後10年～15年後程度を想定して、計画的・戦略的な取り組みの方向を示しました。また、この中で「自（みずから）をみがく」「絆（きずな）をつなぐ」「風（かぜ）をおこす」という3つの行動指針を示し、県民の皆さんとともに「活力と美しさに満ちた郷土」とちぎ「の実現を目指す」としています。

APRIL

4

2003  
県政のあゆみ

## いきいきと生活できる社会の実現へ

### 障害者福祉の支援費制度がスタート

障害者に対する「支援費制度」が4月にスタートしました。この制度は障害者の福祉サービスの利用について、利用者本位の考えに立つ新しい仕組みです。これまで「行政がサービスを特定する「措置制度」でしたが、「支援費制度」は利用者が事業者と対等な関係に立ち、自らサービス提供者を自由に選択し、契約によってサービスを利用するもので、障害者がいきいきと生活できる社会の実現を目指しています。（写真は泉ヶ丘ふれあいプラザ（授産施設）でのパンづくり）



## 県内企業の

### 信頼できるパートナー

#### とちぎ産業創造プラザがオープン

とちぎ産業創造プラザ（宇都宮市刈沼町）が4月1日にオープンしました。この施設は、中小企業などの技術の高度化や研究開発力の向上を支援する「栃木県産業技術センター」と新事業や新分野への取組を支援する「とちぎ産業交流センター」を「開放・交流・連携」のコンセプトのもとに、一体的に整備した総合的な産業支援拠点施設です。県内企業の信頼できるパートナーとして、研究開発から販路開拓に至るまでの各ステージに応じた支援を行っていきます。

## 慢性的な交通渋滞と

### 踏切事故を解消

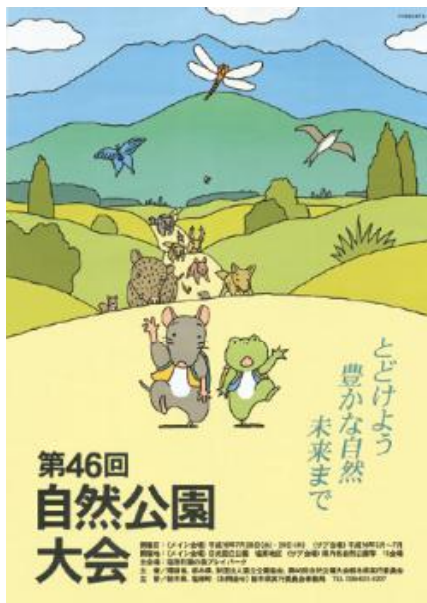
#### 栃木駅周辺のJR両毛線を高架化

栃木駅周辺連続立体交差事業によるJR両毛線高架化完成に伴い4月4日、一番電車の発着に合わせて出発式が行われました。高架化となった区間は栃木市内町から片柳町までの約2.4<sup>km</sup>。平成12年5月に供用が開始されている東武日光線の約3.0<sup>km</sup>と合わせて15か所の踏切がなくなり、慢性的な交通渋滞と踏切事故が解消されました。また、南北市街地が一体化され、快適で安全な都市の形成に寄与するものと期待されています。



## 自然体験活動など多彩な催しを計画 「自然公園大会」の実行委員会を設立

「第46回自然公園大会栃木県実行委員会」（会長＝福田知事）が、4月23日に設立されました。自然公園大会は、環境省が主唱する「自然に親しむ運動」の中心行事として行われる祭典で、平成16年7月28、29日に塩原町をメイン会場に、式典や自然体験活動などが開催されます。また、平成16年5月から7月にかけて県内各地にサブ会場を設定し、自然体験活動を実施します。



4月11日から13日まで、茂木町の「ツインリンクもてぎ」で「インディジャパバン300マイル」レースが行われました。これは、本県と友好交流のあるインディアナ州の州都インディアナポリスで1911年から開催されている「インディ500」を頂点とする「インディレーシングリーグ」の第3戦（全16戦）として、アメリカ以外の国で初めて行われたものです。13日の決勝では71000人が観戦し、アメリカを代表するモータースポーツを楽しみました。期間中、「やすらぎの栃木路フェア in インディ」として本県の観光と物産をPRするとともに、インディアナ州の紹介を行いました。

## インディレース会場で観光と物産をPR 「やすらぎの栃木路」フェアを開催



## 声楽家との合唱を体験

5校で「本物の舞台芸術」を体験

文化庁、県教育委員会などの主催による「本物の舞台芸術体験事業」が、今年度は5校（上都賀、塩谷町地区など）で実施されました。この事業は、子どもたちが優れた舞台芸術に触れることを通じて、芸術を愛する心や豊かな情操を養うことをねらいとしています。「合唱公演」では声楽のプロといっしょに校歌を歌ったり「オーケストラ公演」では交響楽団を前にして指揮者を経験したりしました。子どもたちは、それぞれに心に残る「本物」の感動を味わっていたようです。

（写真は栗野町立栗野中学校）



5 MAY  
JUNE 6

2003  
県政のあゆみ



### 1300人が練習の成果を競う

「県ゆうあいピック大会」を開催

「県ゆうあいピック大会」が5月24日、県総合運動公園陸上競技場で開催されました。知的障害者の健康の保持・増進のためのこの大会も第8回目となり、参加者も年々増え、今年は選手数1300人を超える大規模なものとなりました。当日はお天気にも恵まれ、選手たちは多くのボランテニアに支えられながら、陸上やフライングディスクなどの競技で日頃の練習の成果を十分に発揮していました。

### 県民参加の森林づくりを推進

小川町で県植樹祭を開催

「やってみよう みどりをふやす おてつだい」をテーマに、県植樹祭が5月25日に小川町で開催されました。県植樹祭は、県土緑化推進のための中心的な行事として、県民参加による森林づくりの気運を盛り上げるため、市町村と共催で毎年開催しています。今回は「まほろばゆうゆう園小川」を会場に、緑化功労者の表彰、新設緑の少年団への団旗授与などの記念式典や、知事、小川町長、同町民などによる記念植樹が行われました。



### 環境との共生テーマに意見交換

国会等移転「環境共生シンポジウム」

6月3日、県総合文化センターで、(社)県経済同友会との共催による、国会等移転「環境共生シンポジウム」が開催されました。シンポジウムでは東京大学先端科学技術研究センター教授の大西隆氏が「国会等移転と環境共生型モデル都市について」と題して基調講演を行いました。講演終了後には「環境共生型都市の実現に向けて」をテーマとし、各種の取組事例を通して、パネルディスカッションが行われました。



## 入札や契約手続きを

## 公正・透明化

「県入札適正化委員会」がスタート

県が発注する建設工事について、入札や契約手続きの公正の確保と透明性を図るため「栃木県入札適正化委員会」が6月に設置されました。この委員会は、入札、契約制度などについて学識経験を有する大学教授や弁護士など5人の委員から構成され、県が発注した建設工事から、委員が無作為に抽出した工事について審議し、意見の具申や報告を行うこととしています。委員会は年2回開催され、6カ月ごとの発注建設工事の中から抽出した案件について審議します。



わたしも参加しています。

© PHOTOGRAPHER/KOIKE TOMIO



## 心豊かでたくましい青少年を育もう

「とちぎ心のルネッサンス」運動スタート

心豊かでたくましい青少年を育むため、全ての県民が心をつなげて取り組む「とちぎ心のルネッサンス」運動がスタートしました。数多くの県民のみならず賛同のもと7月9日、県総合文化センターで開かれた県民大会をかわきりに、県内各地で青少年育成のための取り組みが行われています。

## 県庁仮庁舎への移転作業が完了

県庁舎建て替え工事

県庁舎建て替え工事のため、7か所の仮庁舎への移転作業が8月に完了しました。作業は6月28日から8月10日までの7週間、毎週土曜日と日曜日に実施しました。新庁舎が完成する平成19年度中までは、それぞれの仮庁舎で業務を行います。庁舎と外来駐車場が分散していますが、来庁者にご迷惑をかけないよう案内所を3庁舎に設置し、庁舎の案内やリーフレットの配布を行っています。



## 地域と連携し 河川美化運動を推進

「愛リバーとちぎ」がスタート

地域の人たちと市町村・県とが連携して河川美化活動を推進する「愛リバーとちぎ」事業が今年度スタートしました。この事業の第1号として、佐野市のボランティアグループ



「安佐グラウンドワーク」が、7月9日に3者で合意書を締結しました。この事業は、河川美化活動に取り組みボランティアグループを支援するため、県が清掃用具などを提供し、市町村が回収したゴミの処分などを行うものです。現在、第2号として西那須野町の「桜づつみ友の会」の2団体が活動しています。

## 「今こそ、首都機能

移転の決断を！」

国会等移転先候補地の知事が  
共同アピール



7月17日、岐阜県の高山市で、国会等移転先候補地知事懇談会が開催され、福田知事が出席しました。懇談会では、国会等移転の意義・必要性について再認識し、今後も3候補地がより強気に連携して粘り強く取り組んでいくことを確認しました。また「今こそ、首都機能移転の決断を！」と題するアピールを採択するとともに、8府県知事による研究会の開催や、新たな角度からの推進活動の展開などについて確認しました。

## 91社をフロンティア企業に認証 地域の核となる企業を育成

県は、独自の優れた技術や製品を有する企業をフロンティア企業として認証する制度を創設しました。8月4日には県公館で認証式が行われ、知事から91企業に認証状が手渡されました。また、認証企業の中から特に高い業績をあげている5企業をエクセレント企業として表彰しました。認証した企業に対しては、積極的なPRをはじめとする各種支援を行うほか、優れた意欲ある取り組みに対しては、関係機関と連携し、技術開発や経営・販路などの分野について重点的な支援を行い、地域の核となる企業の育成を目指します。





9 SEPTEMBER  
OCTOBER 10

2003  
県政のあゆみ



**長寿を祝い祝詞を贈る**  
知事が新100歳の塚田常吉さんを訪問

「老人週間事業」の一環として、敬老の日を前にした9月8日、福田知事が新100歳の方を訪問しました。今年度100歳を迎える高齢者の中から、健康で活動的なこれからの高齢社会のモデルにふさわしい方として、塚田常吉さん（真岡市荒町）を訪問し、「いつまでもお元気で」と長寿を祝い、祝詞と記念品を贈りました。

**一層の幅広い交流を確認**

友好提携10周年を祝う

本県と中国浙江省とは、平成5年に友好提携協定を締結し、昨年10周年を迎えました。これを記念して、9月9日、浙江省代表団をお迎えして記念式典（県総合文化センター）と記念植樹式（写真左）（益子県立自然公園）を開催しました。また10月27日には、浙江省で記念式典が行われました。同省では、福田知事と呂祖善省長との会談（写真右下）が行われ、10周年をお祝いするとともに、今後、より一層幅広い交流に努めることを確認し合いました。



県庁舎の建て替え工事を前に10月3日、第4代県庁舎の閉庁式が行われました。同庁舎は1938年10月に完成しました。この日は、大勢の関係者が見守る中、福田知事と梶県議会議長が「栃木県庁」の看板をはずし、65年の歴史に幕を閉じました。

**65年の歴史に幕**

第4代県庁舎が閉庁



**取り組みの事例を発表**  
コミュニティビジネススクールを開催

県は平成15年度を「コミュニティビジネス元年」とし、コミュニティビジネスの普及啓発から起業支援まで様々な施策を行っていきます。その一環として、9月4日、5日、9日の3日間、県内の3か所で「コミュニティビジネススクール」を開催しました。スクールでは、コミュニティ・ビジネス・ネットワーク理事長の細内信孝氏（埼玉女子短期大学客員教授）が「コミュニティビジネスとは何か」というテーマで講演したほか、県内でコミュニティビジネスに取り組む人たちの事例発表が行われました。



9 SEPTEMBER  
OCTOBER 10

2003  
県政のあゆみ

## 稲刈りや、水路の清掃など

### 活発に活動

とちぎ夢大地応援団がボランティア

農業や農村に関心のある都市住民などの参加による「とちぎ夢大地



応援団」が、農地保全などのボランティア活動を行いました。9月14日には、茂木町竹原地区の棚田草刈りや稲刈りを、9月28日には、栗野町森地区ホタル水路の清掃や花の種まきを行い、参加者からは「また参加したい」との声が寄せられました。

## 医学的相談や

### 治療後の子育て相談も

不妊専門相談センターを開設



不妊専門相談センター  
電話／028-665-8099  
メール／funin@parti.jp

不妊の悩みや相談に応える場として、とちぎ女性センター（パルティ）内に10月1日、不妊専門相談センターを開設しました。このセンターでは、不妊治療に関する医療機関などの情報提供や治療に関する医学的相談、さらには、治療後の子育てに至るまでさまざまな相談に応じています。助産師による対応は毎週火・土曜日、面接・電話・インターネットで。また、産婦人科医師による面接相談は毎週木曜日です（要予約）。気軽にご利用ください。

## 文化教養活動に活用を

日光田母沢御用邸記念公園に研修施設

日光田母沢御用邸記念公園に研修室（7室）と研修ホール（1室）が設けられました。この施設は、本邸建物の一部を県民の文化教養活動の場として広く活用することを目的に改修したもので、旧御用邸らしい落ち着いた雰囲気にながらも、茶道や華道などの文化活動のほか、各種の研修や会議などにも幅広く利用できる施設で、10月8日にオープンしました。また、12月には「旧日光田母沢御用邸」御座所ほか9棟が国の重要文化財として指定されました。





**とちぎの観光と物産を一堂に展示・販売**  
**「ふるさと栃木フェア2003」開催**

「ふるさと栃木フェア2003」が10月24日から26日まで、マロニエプラザ（宇都宮市）で、開催されました。県内全市町村の観光スポットの紹介や特産品などの展示・販売、また、とちぎの農林水産物の紹介や販売コーナー、そして県内のおいしいそばを提供した「農村レストラン」など、会場全体をとちぎの魅力でいっぱいになりました。さらには、郷土芸能や観光PRなど多彩な催しが行われ、会場は期間中のべ98000人の来場者でにぎわいました。



**「ひとに・まちに・自然にやさしく 自然にやさしく」**  
**住宅フェアを開催**

”ひとに・まちに・自然にやさしく”をメインテーマに「とちぎ住宅フェア2003」を10月17日から19日までマロニエプラザ（宇都宮市）で開催しました。今年で19回目を迎えた当フェアには約28000人を超す来場者がありました。また、今年から新しい試みとして展示内容に沿ったエリア設定を図り、県民の方の来場目的に応じた効率的な展示でフェアを盛り上げました。



**陸上など9競技で技競う**  
**県身体障害者スポーツ大会を開催**

県総合運動公園などを会場に「県身体障害者スポーツ大会」が10月11日に開催されました。大会には、選手のほか、その家族やボランティアなど約3100人が参加しました。出場した選手は秋晴れの空のもと、たくさんの声援を受け、陸上やフライングディスクなど9つの競技で日ごろ鍛えた成果を競い合いました。

**本県の優れた技能を紹介**

**県技能展を開催**

宇都宮市のオリオン通りで10月18日と19日、県技能展が開催されました。会場では、技能者による優れた技術の紹介や一般県民の技能体験コーナーが設けられ、期間中多くの来場者でにぎわいました。



## 地域の食材を給食の新メニューに

### 県産農産物活用学校給食デー

県産農産物を学校給食に活用する「県産農産物活用学校給食デー」が10月22日と23日、県内一斉に実施されました。2年目を迎えた今年度は、県内49市町村のほとんどの公立小中学校などで、県産農産物を使用した給食が提供されました。各地域の食材を生かしたメニューに、子どもたちからは、いつもよりおいしく感じるという声があがるなど、評判も上々でした。



## シンポジウムで意見交換

### 「とちぎ地産地消の集い」を開催

県は平成15年を「地産地消元年」と位置づけ、地域で採れた農産物を地域で消費するという「地産地消」を積極的に推進しています。10月17日には、約500人の参加を得て「とちぎ地産地消の集い」が開かれ催されました。当日開かれたシンポジウムでは、地産地消に関する活発な意見交換が行われ、また、地産地消のタペでは、県内各地の特産物を利用した料理や地酒の味を堪能し、参加者から好評を得ました。

宇都宮市昭和2-2-7  
(合同庁舎向かい)  
<http://www.tochigi-vnpo.net/>



## 社会貢献活動を促進

### 「とちぎボランティアNPOセンター」が開館

県内での社会貢献活動を促進するため、人と情報の交流拠点として「とちぎボランティアNPOセンター（愛称Ⅱぼ・ぼ・ら）」が11月7日にオープンしました。ボランティア活動に参加したいなど、社会貢献活動に関するさまざまな相談に応じるほか、情報の収集、活動の広報、交流や研修、打ち合わせ、資料作成等の場としてご利用いただけます。ぜひ、お気軽にご利用ください。



2003  
県政のあゆみ

## 文化活動交流館など

### 4施設に建築賞

#### マロニ工建築賞と奨励賞を表彰

県マロニ工建築賞表彰式が11月19日、県公館で行われました。今年度は、マロニ工建築賞に「鹿沼市文化活動交流館」(写真)「なががわ水遊園おもしろ魚館」「市貝町立小貝南小学校」の3つの建物が選ばれました。また、マロニ工建築奨励賞には4つの建物が選ばれました。



## 新たな観光資源の発掘を

### とちぎ観光交流戦略会議を開催

「とちぎ観光交流戦略会議」が、11月5日に県公館で開催されました。会議では、新たな観光資源の発掘や再評価を行い、旅行商品としての魅力を備えた広域観光ルートの開発、さらには農林業などの他産業との横断的な連携強化など、本県独自の具体的な誘客策を7月までにまとめる予定です。委員は、県観光協会をはじめ、最前線で活躍されている地域の代表者、交通事業者や旅行事業者、旅行雑誌関係者などで構成されています。

## 優れた製品を一堂に展示・紹介

### 「とちぎ産業フェア2003」を開催

11月13日から15日までの3日間、「とちぎ産業フェア2003」がマロニエプラザで開催されました。このフェアは、新技術や新製品など、優れた製品を一堂に展示・紹介する県内最大の総合産業見本市です。開催期間中は、デザイン展示や各種講演会・セミナーなど多彩な行事が行われました。出展企業の販路拡大や来場者との情報交換に大きな成果がありました。



## 県民総ぐるみで環境保全 「とちの環(わ)県民会議」を設立

県民総ぐるみで環境保全に向けた取り組みを推進する「とちの環(わ)県民会議」が11月22日に設立され、福田知事が初代会長に就任しました。「とちの環県民会議」では、県民と民間団体、事業者、行政の各主体が相互に連携・協力し、パートナーシップによる交流を通して調査研究、情報の整備や提供、普及啓発、要望、提言などの活動を行っています。なお事務局は、河内町にある(財)栃木県環境技術協会が担うことになりました。



## 合唱や演劇でこころの交流

「カルフルとちぎ2003こころの交流」

11月21日と22日、「カルフルとちぎ2003 こころのつどい」が宇都宮市内で開催され、県内各地の障害者の方が、合唱や演劇の発表、作品展出品などの文化活動に参加しました。また、交流を通して県民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めることができました。

## とちぎのいちご10年連続「日本一」へ 知事が太田市場(東京)でPR

県は、これまで「女峰」や「とちおとめ」などの品種を開発してきました。今では県内の約600畝でいちごが栽培され、販売額は平成7年から9年連続で日本一を続けています。そこで、12月16日には10年連続日本一をめざし、東京都太田市場で福田知事が「とちおとめ」のPRを行いました。大粒で鮮やかな赤色の「とちおとめ」が試食台に並び、多くの人たちが集まり、大盛況の試食宣伝会となりました。



	26 日光だいや川公園ニュースポーツエリア開園(今海市)
	10 環境教育、環境学習を考えるシンポジウム(日光市) ・ 栃木県看護大会
	11 春の交通安全県民総ぐるみ運動(20日まで)
	15 国会等移転先候補地共同作業(JR東京駅にポスターを掲出=6月18日まで)
5月	・ 第45回日本公園緑地全国大会(16日まで)
	23 第1回市町村長会議(宇都宮市、11月26日に2回目開催)
	25 環境美化キャンペーン ・ 県植樹祭・とちぎグリーンフェア(小川町)
	26 海外企業のためのSARS対策セミナー
	30 ねんりんピックとちぎ2003(高齢者のスポーツ大会)
	31 とちぎ県民カレッジ開講
	2 不法投棄パトロール出発式(不法投棄防止キャンペーンの一環として6月の環境月間を重点監視期間としてパトロールを実施)
	6 国会等移転先候補地共同事業(各政党の国対正副委員長へ要望活動)
	7 県内の7町で県民の日記念行事(藤原町、芳賀町、野木町、都賀町、塩谷町、烏山町、西那須野町=7、8、14日に開催)
6月	8 環境展(県民の日記念行事)
	15 県民の日記念式典を開催(教育功労者などを表彰)
	21 県民ゴルフ場来場者30万人突破
	22 男女共同参画を考える「とちぎ県民のつどい」
	24 ブロック別市町村長会議(栃木地区、このあと4地区で開催)
	25 食品表示ウォッチャー125人を委嘱
	7 全国ホルスタイン共進会実行委員会
	8 「やすらぎの栃木路」フェア2003を新宿西口で開催(東京都=11日まで)
	12 全国高校野球選手権栃木大会開幕
	15 韓国大統領府の新行政首都建設支援団が那須地域を現地視察 ・ (財)栃木県環境技術協会を地球温暖化防止活動推進センターに指定
7月	18 一般県道鹿沼環状線(千渡工区)開通(鹿沼市)
	24 ワクワク夢体験の船出発(小中学生200人を北海道に派遣=7月29日まで)
	27 都市計画道路宇都宮街道が完成(烏山町)
8月	2 夏の省エネルギーキャンペーンを実施(3日まで)
	4 91社をフロンティア企業に認証

<h2 style="margin: 0;">2003 県政のあゆみ</h2>	
	8 県農業士、女性農業士、名誉農業士あわせて29人を認定
	10 国民体育大会冬季大会本県選手団結団式(日光市)
	17 県民防災の集い
	22 国会等移転先候補地共同事業(衆参両院の議長、特別委員長などに要望活動)
1月	8 「とちぎの水環境を考える」シンポジウム(足利市、11日=宇都宮市、16日=大田原市)
	9 栃の葉国体記念健康マラソン大会
	13 韓国MBCテレビが国会等移転について那須地域を現地取材
	14 「やすらぎの栃木路」ウエルカム2003(東京都)
	15 ウエルカム・イン・とちぎ(宇都宮市・益子町) ・ 県文化振興大会(小山市)
	18 優れた技能を持つ人を「とちぎマイスター」として認定
	19 一般国道294号(八木岡バイパス)開通(真岡市)
	24 県内10農協構想を実現
2月	5 新庁舎の基本設計の概要を公表
	14 とちぎ産業創造プラザ開所記念式典 ・ 「やすらぎの栃木路」キャンペーンを実施(横浜市=16日まで) ・ 主要地方道川俣鬼怒川線(萱峠工区)開通(栗山村)
	20 一般県道毛里田坂西線(葉鹿橋)開通(足利市)
	24 みかも山公園万葉庭園開園(佐野市) ・ 一般国道119号「宇都宮北道路」が開通
	27 主要地方道栃木粕尾線(大越路工区)開通(栗野町) ・ 県の長期ビジョン「とちぎ将来構想」を策定
3月	1 北東北地域首都機能移転連携事業実行委員会事業(JR東京駅、渋谷駅などにコルトン提出) ・ 県本町合同ビル営業開始 ・ 西久保田地区(足利市)と真岡IC周辺地区(真岡市)の工業団地開発に着手
	・ とちぎ産業創造プラザがオープン
	・ とちぎ農産物マーケティング協会を設立
	・ 死亡牛BSE検査施設が稼働
	9 国会等移転先候補地共同事業(首都機能移転についてアピール文を発表)
4月	13 県議会議員選挙
	19 春季高校野球大会開幕

10月	17 とちぎテクノモール
	・ 食と農の郷とちぎウイーク(26日まで)
	18 とちぎ森と緑の集い(矢板市)
	21 不法投棄防止のつどい
	25 クリーンアップフェア
	27 知事が栃木県・浙江省友好提携10周年記念式典に出席(中国浙江省杭州市)
	29 環境と調和した農業生産シンポジウム
	30 林業センター公開デー
	1 県発明展覧会、児童生徒発明工夫展覧会を開催＝3日まで
	4 栃木米改革推進大会
・ 県文化功労者表彰式(尾島利雄さんと坂本好一さんを表彰)	
6 男女共同参画地域連携フォーラム(佐野市、15日鹿沼市)	
7 とちぎ教育の日振興大会	
12 第38回栃木県交通安全県民大会	
・ 企業立地セミナーin東京	
・ 「女性に対する暴力をなくす運動」講演会	
・ 農業の「機械化現地フォーラム'03」(鹿沼市)	
・ 21世紀の“とちぎ”を語るシンポジウム	
15 フェスタ in パルティ	
17 県統計大会	
19 青少年のための県民のつどい(黒磯市)	
・ 主要地方道栃木粕尾線(大久保工区)部分開通(栃木市)	
25 国会等移転先候補地共同事業(全国議員へ要望活動)	
・ 人権啓発資料展(国・県・市町村などが作成した啓発資料を展示)	
27 ヒューマンフェスタとちぎ2003(人権、同和問題についての啓発活動を実施)	
・ 県森林林業祭	
28 職業能力開発促進大会	
29 アーミクスフェスティバル(青少年活動についての情報交換と交流など＝30日まで)	
30 消費者フォーラム(鹿沼市)	
3 都市計画道路外環状線「宮環・雨情陸橋」が開通	
5 とちぎベンチャーマーケット	
7 NPO・ボランティアフェスタ	
9 とちぎマロニエカップ(競馬)	
11 年末の交通安全県民総ぐるみ運動(31日まで)	
16 県芸術祭美術祭表彰式	
18 主要地方道足利邑楽行田線(久保田工区)開通(足利市)	
25 「旧日光田母澤御用邸」が国の重要文化財に指定	

8月	4 水の週間行事「水の講演会」
	5 ドメスティック・バイオレンスセミナーを実施
	・ 県庁で防災図上訓練を実施
	9 県立高校再編基本計画(案)地域別説明会(8月10日まで)
	19 県庁本館と第2庁舎などの解体工事に着手(平成16年7月30日まで)
	20 主要地方道烏山矢板線(中央工区)開通(矢板市)
	22 農産物品質認証制度スタート
	28 「交通安全の火」採火式(交通安全全国キャラバン隊県内出発式も同時開催)
	31 県・真岡市総合防災訓練を実施(真岡市)
	2 とちぎ地産地消推進懇談会を開催(「とちぎ地産地消推進方針」を策定)
・ 県民福祉のつどい	
3 一日中小企業庁 in 大阪	
4 企業立地セミナー in Tochigi	
6 秋季高校野球大会開幕	
9 救急医療週間記念大会	
・ 県公衆衛生大会	
・ 本県と浙江省との友好提携10周年を記念し式典を開催(宇都宮市)	
日中栃浙友誼林記念植樹式(益子町)	
18 一般県道雀宮真岡線(東汗工区)開通(上三川町)	
19 県庁舎本館見学会(20日まで)	
21 秋の交通安全県民総ぐるみ運動(30日まで)	
・ 県民スポーツ・レクリエーションフェスティバル	
27 県芸術祭美術展(11月4日まで)	
29 県の「“商UP”アドバイザー事業」が全国自治体・善政競争で功名賞を受賞	
1 県伝統工芸品展を開催＝6日まで	
・ 不妊専門相談センターを開設	
3 第4代県庁舎閉庁式	
5 女性の海外研修(29人をオランダ、フィンランド、フランスに派遣＝14日まで)	
・ コンセール・マロニエ21表彰式	
・ もくもくまつり2003・とちぎ木の県推進大会	
10 県庁舎本館一部移築工事に着手	
・ 一般県道日光今市線(瀬尾工区)開通(今市市)	
・ 生きがいつくりセンター県北支所を開設(矢板市)	
12 とちぎインターナショナルフェスティバル2003	
14 一般県道小来川清滝線・主要地方道鹿沼日光線(中小来川工区)開通(今市市)	